

參考

現下滿洲國內の不安なる形勢に就て

五月十日 陸軍省新聞班

張學良は東三省に相當未練を持つて及
るし及張派からは責任を問はれし一般
民衆の輿論にも悩まされてゐる力で失地恢
復など、豪語はするもの、今直ちに起つ如
きことは不可能である 而して張一派は國
際聯盟の空気が密角支那側には有利なら
むとするに依然一縷の望みを囁し只管
之れに頼つて日本を圧迫し自己の面子を
立て身の保全を圖らんと欲し種々の陰
謀を運してゐる 即ち調査團が四月九日
平津地方に到着する前後から彼等策
謀は活氣を呈した 彼等はあらゆる手
段を講じて滿洲國成立の経緯に就て
虚構なる及宣傳をなした 又滿洲國內

の及滿及日の兵匪を煽動し指導して各地一齊に騷擾を起さしめ以て滿洲國の建設が毫も滿蒙全般の民意に依るものではないことを諷いんと試みた。而して共産党一派も全滿混亂の時機に乗じて諸工作を實施せんとする噂があるので最近滿洲國の形勢は難關に達著しあるを思はしむるものがある。

以下其情況を概述する

一奉天省東部方面

曩に西部間島地方に出没して間島臨時旅遣隊を悩ましたる大刀會匪の勢其後更に増大し其數實に三千と稱し張學良の使喚を受け所在の匪賊と合作して救國軍を組織し行動頗る活氣を呈するに至つた。

巧妙なる及滿及日的宣傳は意外に奏功せしもの、如く各地官憲漸く動

揺し遂に四月二十四日張學良の密令を
受けたる在通化歩兵第二團(廖弼宸)
の一部先づ兵變を起し在桓仁歩兵第
一團(唐聚五)も亦之に應せんとす。氣
配があり大刀會の鄧鉄梅の義勇軍
及李福田匪と策應してゐる。と略確
實である。于正山堡口北山城子營
盤(奉海線上)附近より興京附近を目
標として討伐の軍を進む我が奉天警
察隊も通化邦人救出の爲同方面に急
行してゐるが所在の兵匪に渡られ沿
道公安隊等の態度も曖昧なる爲剿
匪の進展は中々困難なる模様である
鴨綠江を渡つて鮮内へ避難する同胞
もある。

二 吉敦沿線及間島方面

曩きに百草溝方面を荒して間島臨時派遣
隊の爲一時鳴を沈めたかに見えた王徳林の
兵匪約数百は再び鏡泊湖南側地区を經
て敦化方面に活動を開始した模様で在寧
安吉林警備第二團約千名(郭英魁)は反
旗を翻して王徳林軍に合作し鏡泊湖西側
地区を南下して敦化北方額穆附近に迫
したが在敦化鶴見部隊の爲一撃を喰つて
北方に退避した。

吉敦沿線には大刀会 紅槍会 馬賊等を主
体とする匪賊合計約二千が蟠居して
王徳林部隊と連絡し吉敦線鉄橋の焼却
を行つてゐる。

間島地方は臨時派遣隊の討伐後概して
平靜となつてゐるが小匪賊団の横行は依
然としてゐる。

三、東支東部線及松花江河畔方面

馬憲章(第二十五旅)劉萬魁等の及吉林軍の一半は東支東部線に沿ひ又李杜

(第二十四旅)丁超(第二十八旅)刑占清(第三十六旅)

姚殿臣(騎兵旅)揚文林(騎兵旅)馮占海(暫編

騎兵旅)宮長海(騎兵旅)等の一半は松花江

に沿ひ共に哈市を目標として西進して来

て其總兵力約三万余と稱せられたが我が

依田村井及中村の各部隊が為隨時

隨所に激撃せられた大損害を蒙つた

目下東支東部線方面には馬憲章軍

(約四千)は海林東方地区に在つて同地に在る

我が一部隊と相對峙してゐるが七日夜二回

に亘り牡丹江駅を襲撃して未だ撃退

せられた

葦沙河附近には劉萬魁軍 烏吉密附

近には刑占清軍 及揚文林(了)の騎兵団

が在つて其先頭は阿城に進入してゐる

以上東支東部線沿線に在る及吉林軍は我が軍と眞面目の戦闘を避け専ら鉄道破壊地方擾乱を策してゐる。

松花江河畔の及吉林軍は我が中村部隊の方正附近占據の爲中断せら此方正東方徳莫立附近には丁超軍が位置し賓縣附近には馮占海軍 宮長海の騎兵團姚殿臣の騎兵團が在つて其先頭部隊は蜚克圖（哈市東方約三十料）に達してゐる。

四、黒龍江省方面

黒龍江省内各軍隊の大半は新省長程志遠の命令に服従し新政府に忠誠を誓つてはゐるが中には反満反日の兵匪と款を通じ態度を曖昧にしてゐる者もあるこの間不逞の輩の策動するのがあつて不安の状況にある

李海青軍は扶餘附近を根據とし農安附近を擾亂して我が軍及吉林軍の爲撃退されだが其後勢力を恢復し目下一萬餘の兵力を擁し長春山嶺、肇州、二站、三站、四台（共に哈市西南方松花江河畔）附近に在りて更に東支南部線方面に進出我が軍の後方擾亂を企圖してゐる又其一部は肇東に進出東支東部線安達方面を脅威してゐる李天德匪千五百が之に策應してゐる

らしい

五、遼西及熱河方面

張學良が國際聯盟調査員入滿を機とし満洲擾亂を企圖し新に締成せる所謂義勇軍を遼西方面より侵入せしめんとしてゐるが其數隊は北戴河石門塞附近を経て九門附近より莫大なる兵器彈藥を携行して關外に入つたとの情報がある尚同方面には待機中の部隊がある模様である。

熱河方面に於ては張學良の指揮する義勇軍及解國臣の率ゐる保安隊相合して約三千を以て通遼上道り同地附近を擾亂したが我中島部隊の爲に撃退せられた熱河軍の一部も亦四月二十三日頃卓里克圖王府附近迄進出した模様で其態度は曖昧である。

之を要するに調査團の北滿進出を機会とし張學良が糸を引いて反滿反日分子

が一斉に活動を開始し、益々国内の治安の
擾乱を企圖するのみならず我が軍の行
動をも妨害せんとする状況であつて全
滿の形勢を眞に樂觀を許さない特にこ
の間には介在し共産黨の活動説が高ま
つて來たことは注目し値する滿洲は今や
草木繁茂期に次で雨期に際會しつ
ゝあるを以て討伐行動は甚しき容易で
はないが然も彼等が徹底的武力鎮壓を
免れたならば益々勢力を増大し連絡
協同を密にし新國家にとって牢手とし
て扱ふべからざる反抗勢力を形造る
に至るであらう即ち今にして剿滅せ
ずんば百年の禍根をのこすことにならう